

安達町農業協同組合（JA安達町）



代表理事組合長	二階堂 泰 次	役 員 数	21名
所 在 地	〒969-14 安達郡安達町 油井字濡石16	理事	17名（うち常勤 1名）
	☎0243-23-2711	監事	4名
設 立 年 月 日	昭和40年 6 月 1 日	職 員 数	78名（男51名 女27名）
		臨時	5名

I 地 区 の 概 況

当地区は、県中通り安達郡の北部に位置し、福島市と二本松市との中間にある。東部は阿武隈山麓地帯で丘陵の起伏が多く、中央部は平坦地で、西部は安達太良山麓に連なる。阿武隈川が町の東南を迂回して北東にながれている。

町の中央をJR東北本線、国道4号線が縦断しており、他に主要地方道の川俣安達線を始め県道7路線が町内を走っている。また東北縦貫自動車道二本松ICまで6kmと交通の便に恵まれている。

町の位置 北緯37度37分 東経140度26分
面 積 総面積4,435ha 農用地1,765ha
山 林1,575ha 宅 地 249ha
その他 846ha

人 口 11,941人 世帯数2,289戸

主要農産物は水稻、野菜（あさつき、きゅうり、ピーマン、にら、トマト、いちご等）、菌茸（しいたけ、なめこ）、果樹（りんご）、養蚕等で、また畜産では子牛生産と肉牛生産の一環体系が確立されている。

Ⅱ 50年のあゆみ

1 地区農業の変遷

安達町における農業粗生産額の推移をみると、昭和33年には、米、養蚕についで畜産、麦類であったが、47年には養蚕が5億円を突破し第1位の生産となっている。養蚕は、その後も若手の変動はあったものの順調に伸展していたが、繭価が低迷し最近急速に減少した。基幹作物の米は、生産調整の影響もあり低迷をつづけている。また麦豆類については外国からの輸入により減少したものである。したがって35年頃までは水田に麦、菜種、れんげ草などの二毛作がみられたが、今はまったくみられなくなった。

ここで主要な作物についてみる。

(1) 水稻 これまでの増産から一転、45年から米の生産調整の実施、稲作転換対策により作付面積・収穫量とも減少

した。生産調整を機に「うまい米づくり」が定着した。

(2) 養蚕 農業粗生産額の中で第1位を占め作付面積、生産量とも順調な伸びを示してきた。これは、41年から第1次農業構造改善事業をはじめ各種事業を積極的に導入した結果飛躍的な増産となった。しかし近年繭価低迷後継者難から年々減少している。

(3) 野菜 栽培技術も

低く自給的な生産が主であったが、42年に夏秋きゅうりの指定産地となり、また転作田にいら等の導入がされた他にあさつき、トマト、さらに最近ピーマンが栽培されて面積、収量とも増加している。

(4) 果樹 ほとんど見るべきものがなかったが、57年総合農地開発事業により、下川崎東北地区にりんごが導入され、主産地形成が期待されている。

2 経営の推移

昭和30年代の所得倍増政策によって、40年代後半にいたるまでは平均10%以上の経済成長をもたらした。特に急速な都市化、工業化に伴う農村社会における混住化の進展、他産業への農

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

年次		25	35	40	50	60	2
項目							
総農家戸数 (戸)		1,783	1,463	1,435	1,366	1,226	1,031
うち 専業 (戸)		909	545	342	153	92	65
I 種兼業 (戸)		622	373	699	648	330	198
II 種兼業 (戸)		252	545	395	565	804	768
経営耕地面積 (ha)		1,831	1,556	1,569	1,521	1,490	1,427
うち 田 (ha)		797	698	735	774	729	715
畑 (ha)		596	506	482	250	188	148
樹園地 (ha)		437	351	351	537	574	523
うち桑園 (ha)		424	336	330	523	555	493
収穫面積	稲 (ha)	757	654	721	694	630	580
	麦類 (ha)	461	387	258	10	1	2
	野菜類 (ha)	132	113	74	88	70	57
	果実類 (ha)	55	13	16	13	19	32
飼育頭数	乳用牛 (頭)	82	266	266	465	420	388
	肉用牛 (頭)	576	582	544	390	328	225
	豚 (頭)	44	252	1,003	413	724	440
	にわとり (千羽)	3	5	14	16	20	

(注) 25年35年には松川町の下川崎地区を含む

家労働力の流出による兼業化の進行、さらには農業経営面における労働生産性向上をめざしての農業機械化の進行、米の過剰基調と食糧需要の多様化からの農業生産形態の著しい変化と目まぐるしい環境の移り変わりであった。このことは、農協の事業推移においても、農業生産に直接関係する経済事業のウエートが低下し、生活資材、信用、共済事業の増加となってきた。

このような農業農村にかかる厳しい情勢に対処するため、50年の当初以来農協の経営健全化対策のために、年次ごとの統一的運動として農協大会等による組織討議を経て次のような運動を展開してきた。

第2次農協総合3カ年計画 (49～51年)

農協協同活動強化運動 (52～54年)

農協協同活動強化第2次3カ年運動

(55～57年)

農協経営刷新強化3カ年運動 (58～60年)

農協総合力強化3カ年運動 (61～63年)

農協総合力強化後期3カ年運動 (1～3年)

J A 21戦略第1期3カ年運動 (4～6年)

このことは、内外共に厳しい社会経済環境におけるJ A経営の戦略として効果を果たした。

3 農業協同組合の設立と合併

昭和23年に、当J Aの前身である油井村農業協同組合、渋川村農業協同組合、上川崎村農業協同組合、下川崎村農業協同組合がそれぞれ村

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

年度			24	30	40 (合併年度)	50	60	5
項目								
正組合員戸数(戸)			1,884	1,814	1,341	1,251	1,178	1,160
准組合員戸数(戸)			143	133	153	135	183	372
資 産	余 裕 金		5,640	9,116	96,500	709,730	3,730,691	9,208,058
	貸 出 金		8,226	35,682	116,389	1,292,108	2,871,149	3,403,029
	その他流動資産		2,991	27,482	53,038	379,857	4,003,070	564,627
	固 定 資 産		3,655	11,247	25,717	229,833	702,634	688,581
	外 部 出 資		209	1,877	6,142	16,400	69,149	109,867
負 債 及 び 資 本	貯 金		19,540	53,704	209,488	2,206,647	5,760,984	11,248,663
	借 入 金		5,401	18,217	40,812	94,552	1,101,849	951,194
	そ の 他 負 債			3,781	11,803	242,570	712,611	1,009,694
	出 資 金		603	11,736	26,818	80,754	277,749	359,152
	積 立 金		83	3		850	124,321	353,700
剰 余 金			-204	-2,037	-8,865	2,555	41,557	41,759
主 な 事 業 実 績	販 売 取 扱 高		44,445	113,104	406,707	634,552	739,871	1,026,053
	うち 米 穀			91,708	216,311	501,903	481,561	654,706
	青 果 物			2,537	13,487	103,235	204,172	333,220
	畜 産 物				24,617	13,115	19,137	3,249
	購 買 取 扱 高		22,891	47,706	80,473	902,147	1,731,859	1,896,634
	うち 生産資材			38,078	68,826	348,887	474,587	379,355
	生活資材			9,628	11,647	553,260	1,257,272	1,517,279
長期共済保有高					7	7,993	51,824	85,921

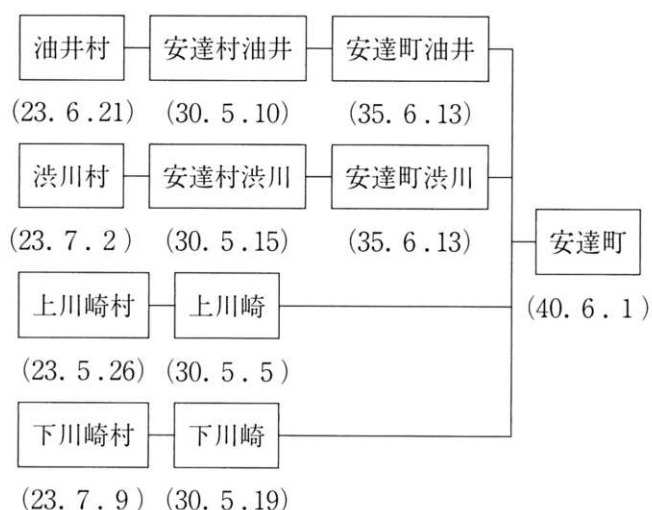
(注) 合併以前の年度は合併参加農協の合計

の農業会の資産を受け継いで誕生した。

30年に油井村、渋川村、上川崎村が合併して安達村が発足した。32年になって松川町と合併していた下川崎地区の一部が安達村に編入した。35年に町制が施行され安達町となった。

40年に町内4農協が合併して安達町農業協同組合が設立された。この時、下川崎農協の松川町地区の組合員は別れて松川町農協に加入した。

図表3 合併等の経緯



図表4 合併参加農協の概要

組 合 名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
安達町油井	遊佐 唱	371	11	10
安達町澁川	小林 誠	497	16	13
上 川 崎	永久秀治	497	14	10
下 川 崎	野地一吉	180	8	0

(注) 下川崎農協は松川町農協に参加した分を除く

《 苦難の道 》

当JAは昭和40年6月1日合併した。合併直前に旧渋川農協が火災により事務所及び米倉庫が全焼し、合併調印がストップし、火災の原因損害額及びその負担計画の話し合いが着くまで延期となった。合併前の財務確認検査の結果、赤字はそれぞれの旧農協毎に役員が一時弁済し、

合併後に経営努力による剰余金の組合員への利用配当金をもって旧農協毎に弁済金に充当してこれを解消する事で合意し、合併が実現した。

初代組合長は遊佐 唱氏で、役員46名地区意識が強く大変苦勞された。初年度決算は888万円の赤字で1年で退陣、2代組合長は永久秀治氏になった。本所事務所は、安達町渋川公民館の一部を借りて発足したが、狭いため本所建築の計画樹立に当たって赤字経営のため上川崎小学校の古校舎の払下を受けて、油井福岡16番地に建設した。質素な事務所にて15年間暑さ寒さに耐えてきた。

46年2月永久組合長が町長選に立候補して当選し町長に就任のため、第3代組合長に遊佐久太郎氏が就任した。組合長は組合員へのサービスと利用向上のため各支所事務所の改築に重点を置き、48年油井支所、49年下川崎支所、50年上川崎支所を改築した。その間、47年水稻育苗センター(200ha)、48年上川崎農産物集荷所、50年くみあいマーケットと次々の施設整備に大変な苦勞をされた。

50年2月遊佐組合長も永久町長の引退により町長選に立候補して当選し町長に就任され、第1理事の服部作蔵氏が組合長代行を勤められ、6月総会において第4代組合長に就任した。経済成長の波に乗って経営も好転してきていたが、健康を害し僅か1年7か月の在職で他界された。

第5代組合長に私が就任し現在に至っている。58年に本所会館を建設増資1億5000万円の決議をして戴いて、6億5000万円の巨費を投じて建設した。本年漸く固定比率が100%となった。その間の組合員の理解ある協力と役職員の経営努力は並々ならぬものがあつたことに感謝しております。(組合長 二階堂 泰次)

Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
23年		6. 3	業務開始
5. 26	上川崎村農業協同組合設立	6. 18	下川崎事業所開所式
6. 21	油井村農業協同組合設立	12. 1	貯金 3 億6000万円推進目標達成
7. 2	渋川村農業協同組合設立	41年	
7. 9	下川崎村農業協同組合設立	4. 24	第 1 回通常総会
26年		5. 11	渋川事業所事務所落成式
.	再建整備法による指定（油井・渋川・下川崎）	12. 5	出稼ぎ対策懇談会
30年		42年	
1. 1	油井村、渋川村、上川崎村の 3 村合併して安達村誕生	12. 16	本所事務所、農業倉庫、購買倉庫落成式
5. 5	上川崎農業協同組合と名称変更	43年	
5. 10	安達村油井農業協同組合と名称変更	8. 28	増資推進運動（～31）
5. 15	安達村渋川農業協同組合と名称変更	44年	
5. 19	下川崎農業協同組合と名称変更	8. 29	1 日皆貯金実施
32年		10. 14	農家庭実地調査実施
7. 1	松川町下川崎の一部が村に編入	12. 16	安達地方農協合併検討会
33年		45年	
7.	繭価格下落対策として 2 割減制限措置強制実施	8. 4	購買事業一斉推進
10. 31	整備特別措置法による再建整備の指定（渋川）	8. 17	米生産調整推進会議
35年		12. 23	ガソリンスタンド開所式
2. 1	町制施行祝賀会	46年	
6. 13	安達町油井農業協同組合更と名称変更	4. 15	稲作転換対策会議
6. 13	安達町渋川農業協同組合更と名称変更	5. 28	安達地方農協合併促進協議会設立総会
7. 8	共済優績 全共連表彰（下川崎）	12. 24	町指定金融機関調印
37年		47年	
1. 31	更生特別措置要綱による再建整備の指定（上川崎）	1. 4	町指定金融機関の業務開始
38年		4. 5	育苗センター落成式
6. 6	共済優績 全共連表彰（油井・上川崎）	48年	
39年		4. 22	第 1 回通常総代会
6. 6	共済優績 全共連表彰（油井・下川崎・渋川）	6. 5	上川崎農産物集荷所落成式
40年		8. 9	油井事業所事務所落成式
5. 19	事務所・農業倉庫全焼（渋川）	9. 28	安達地方農協合併予備契約
6. 1	油井、渋川、上川崎、下川崎の 4 農協合併して安達町農業協同組合発足	12. 15	安達地方農協合併臨時総会
		49年	
		4. 1	総合 3 ヶ年計画推進委員会
		6. 20	下川崎事業所事務所落成式
		50年	
		4. 15	堆肥センター落成式
		6. 10	上川崎事業所事務所落成式
		11. 23	合併10周年記念式典
			第 1 回農協祭

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
51年		12.14	渋川なめこ生産植菌所落成
3.27	安達ライオンズ発会式	12.17	A T M稼働 (A コープ前)
5.10	育苗センター増築完成	60年	
11. 3	第 2 回農協祭	6. 1	合併20周年記念式典
52年		8.24	第11回農協祭
1.28	ニラ生産部会結成	61年	
3.23	上繭数量20万 K g 達成祝	8.23	第12回農協祭
5.23	購買品本所集中配送開始	10. 5	A コープ友の会設立総会
8.19	第一回農業後継者育成資金貸付開始	62年	
12. 4	青年部結成総会	5.21	共済優績 全共連表彰
53年		8.23	第13回農協祭
9. 2	第 4 回農協祭 (～ 3)	10.12	中国旅行実施
9.25	梨子木ライスセンター稼働	12. 1	A コープ安達店・油井支所事務所落成式
11.23	芸能大会開催	63年	
54年		5.18	瀬戸大橋旅行実施
8.25	第 5 回農協祭	5.19	共済優績 全共連表彰
11.23	芸能大会開催	8.27	第14回農協祭
11.30	渋川集約農業倉庫落成	12.31	年末貯蓄80億円台達成
55年		元年	
5.28	貯蓄優良 農林中金支店長表彰	1.19	ハワイ旅行実施
8.23	第 6 回農協祭	5.18	共済優績 全共連表彰
9.11	低温対策委員会 (冷害となる)	5.29	貯蓄優良 農林中金支店長表彰
56年		8.27	第15回農協祭
8.19	消費者と生産者の懇談会	11.23	台湾旅行実施
8.29	第 7 回農協祭 (～30)	2 年	
57年		2.16	共済億友会結成総会
1.29	京浜市場浅月販路拡大調査	2.28	A コープ安達店供給高10億円突破
5.27	系統利用優良 経済連表彰		共済チャレンジクラブ発足
6.30	農協会館・購買倉庫完成	6.27	合併25周年記念式典
8.10	総合建設事業落成式	10.29	きゅうり販売高 1 億円突破
8.28	第 8 回農協祭 (～29)	3 年	
58年		4.27	役職員 O B 会設立総会
1. 8	婚礼予約会	4 年	
5. 1	優良農業倉庫 食糧長官表彰	4. 1	愛称「J A 安達町」と決定
6.28	農業後継者対策協議会設立総会	4.22	年金友の会1500名達成記念大会
8.27	第 9 回農協祭	12. 1	食材宅配事業スタート
9.26	信用事業オンライン稼働	5 年	
59年		8.28	第19回 J A 祭
5.24	年金友の会設立総会	12.20	ピーマン栽培実績検討会
5.23	共済優績 全共連表彰	6 年	
8.25	第10回農協祭	2.28	冷夏長雨による大凶作 米の集荷46.8%

Ⅳ 資 料

(平成5年度末現在)

1 組 合 員

()は戸数

正組 合 員		准組 合 員		合 計	
個 人	法人	個 人	団体	個 人	法・団
1,559 (1,541)		793 (603)	16	2,352 (2,144)	16

2 役員及び参事

代表理事組合長	理事 岡 田 源 治
二階堂 泰 次	理事 安 齊 政 吉
理事 佐 藤 源一郎	理事 喜 古 光 夫
理事 古 川 哲 男	理事 浜 尾 慎 市
理事 吉 田 道 雄	理事 服 部 光 治
理事 遠 藤 宗 雄	
理事 野 地 巖 与	代表監事 菅 野 栄 市
理事 野 地 信 雄	監事 窪 信 一 夫
理事 加 藤 和 二	監事 安 齊 弘 一 夫
理事 佐 藤 末 三	監事 吉 田 光 夫
理事 伊 藤 新 寿	参事 佐 野 興 志
理事 植 野 新 寿	

3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
64	18	82	9	1

4 協力組織

名 称	代 表 者	会員数
農事組合		1,789
婦人部	安 齊 ミツル	463
青年部	佐 藤 運 喜	36
Aコープ友の会	菅 沢 テルヨ	1,330
若妻部会	菅 野 芳 子	20
年金友の会	福 本 勇	1,614
共済億友会	安 齊 慶 司	202

5 生産部会

名 称	代 表 者	会員数
きゅうり部会	安 齊 弥 吉	44
あさつき部会	安 齊 慶 司	85
果樹部会	服 部 定 市	20
いちご部会	斎 藤 伝 八	8
なめこ部会	菅 野 寛 一	16
しいたけ部会	菅 野 則 男	18
トマト部会	遊 佐 一 夫	14
ニラ部会	佐 藤 運 与	17
ピーマン部会	佐 藤 喜 志	56
稲作部会	佐 藤 公 伯	13

6 主な施設

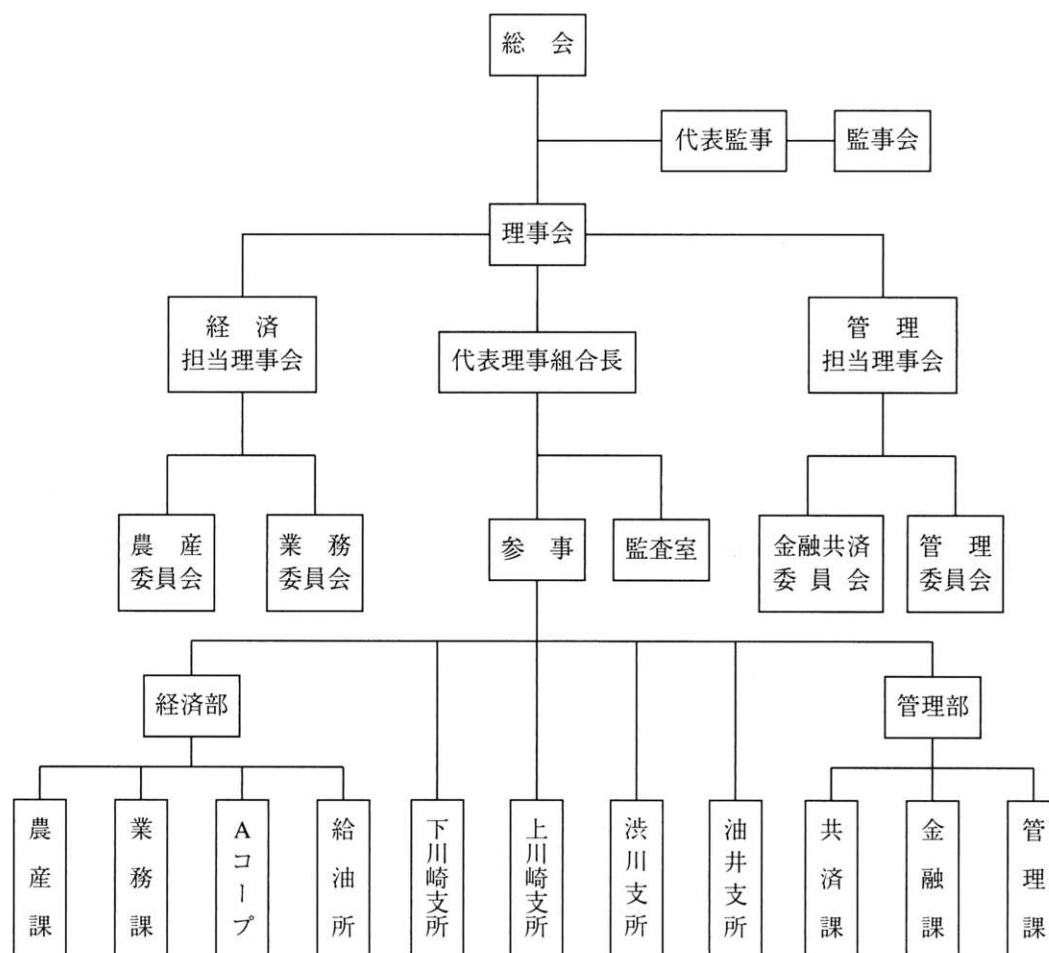
名 称	所 在 地
本所	油井字濡石16
油井支所	〃字八軒町24
渋川 〃	渋川字上弘川128
上川崎 〃	上川崎字陣場201
下川崎 〃	下川崎字大中地66-2
給油所	油井字腰巻8-2
Aコープ安達店	〃字八軒町24
育苗センター	渋川字東金成田35-25
堆肥 〃	米沢字上山岸17
農業倉庫1号	油井字梨子木川原50-3
〃 2号	渋川字上弘川128
〃 3号	〃 〃
ラポートあだち	油井字濡石16
テナント棟	〃 〃

7 歴代組合長・参事

組 合 長			
40～41	遊佐 唱	50～53	服部 作蔵
41～47	永久 秀治	53～	二階堂泰次
47～50	遊佐久太郎		

参 事			
40～50	斎藤 寿雄	2 ～	佐野 興志
50～2	伊藤 克男		

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

安達町油井農協

23～25	柳沼 克三	25～32	佐藤 運喜
25～25	遊佐多計雄	32～40	遊佐 唱

上川崎農協

23～26	安斉 伝治	34～40	永久 秀治
26～34	喜古藤四郎		

安達町渋川農協

23～24	安斉 春吉	32～36	大内 栄治
24～26	服部 栄	36～39	吉田 藤留
26～28	尾形市之助	39～40	小林 誠
28～32	佐藤文五郎		

下川崎農協

23～26	鹿野 万	38～40	野地 一吉
26～38	佐藤 要蔵		